



水に浸かった家財道具の搬出や災害ごみの撤去に従事した（10月21日、長野県須坂市で）



水を含んだ土砂を宅地から運び出す（10月30日、栃木県鹿沼市で）



重機を用い、住宅地に流入した土砂を取り除く（11月8日、栃木県鹿沼市で）



屋根にブルーシートを張る隊員たち（10月5日、千葉県鴨川市で）

台風15、19号の被災地で救援活動

災害救援ひのきしん隊

関東の多くの地点で観測史上最も強い最大瞬間風速を記録した台風15号と、東北・関東・中部地方の各地に記録的な大雨をもたらした大型の台風19号が日本列島に立て続けに上陸。この二つの台風によって、各地で河川の氾濫や堤防の決壊などが相次ぎ、家屋の床上・床下浸水などの住宅被害が多発した。天理教の災害救援組織「災害救援ひのきしん隊」は、各自治体と連携して被害状況の把握や情報収集に努め、被害の大きかった地域へ順次出動。家屋に流れ込んだ土砂の撤去に努めたほか、水に浸かった家財道具や災害ごみの搬出作業にも力を尽くした。

